

第1項

中心市街地の整備



目 標	活力とにぎわいのあるまち	
数 値 目 標	福山駅周辺の 通行量(休日)	2005年度 159,236人
		2011年度 183,000人
	中心市街地の居住人口 ^{*110}	2005年度 15,199人
		2011年度 16,000人

取り巻く環境(現状と課題)

中心市街地の空洞化

現在の中心市街地は、人通りが減少しており、福山駅周辺を多くの人が行き交う魅力あるまちづくりを行い、市の玄関口として、にぎわいを創り出すことが重要です。

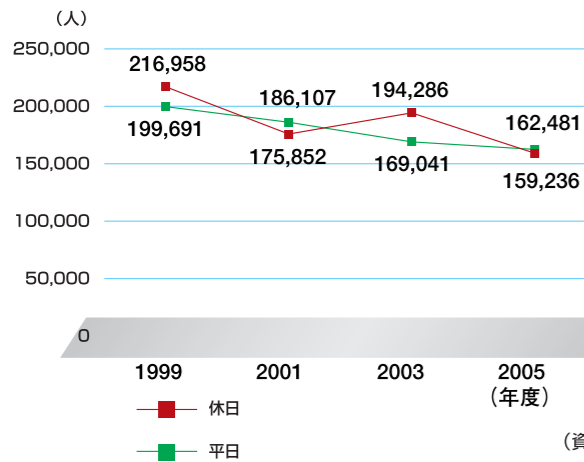
快適に生活できる市街地づくり

にぎわいのある中心市街地づくりには、魅力的な店舗の集積のほか、だれもが快適に生活できる住宅や教育、医療、福祉などが充実したまちづくりが必要です。

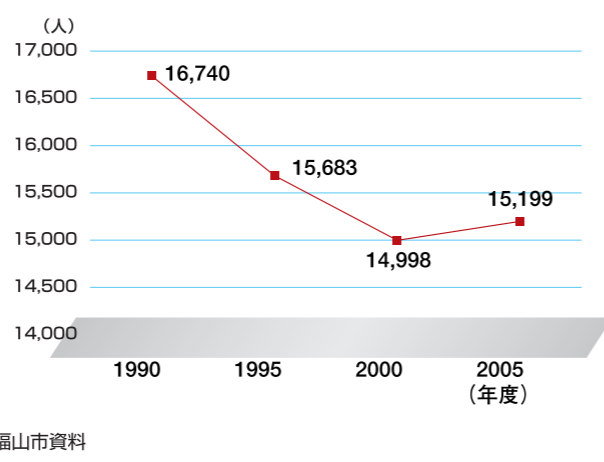
歩行者優先の市街地づくり

にぎわいのある中心市街地づくりには、歩いてみたいと思えるまちのデザインや移動しやすい環境の整備が必要です。

福山駅周辺の通行量(平日・休日)の推移



中心市街地における居住人口の推移



(資料) 福山市資料

*110 中心市街地の居住人口:商業、業務、居住などの機能が集積し、長い歴史の中で文化や伝統など培ってきた「街の顔」といべき地域。おおむね、福山駅を中心に約187haに居住する人口のこと。

「目標」を達成するための取組

福山駅周辺の整備

中国・四国地方の拠点都市の玄関口として、魅力とにぎわいのあるまちづくりを進めます。

- 福山駅周辺地区整備
- 中央公園地区整備
- 市街地再開発事業

歩いて楽しい市街地づくり

個店や商店街の魅力を高め、歩いて楽しめる市街地づくりを進めます。

- 魅力ある商業空間形成
- 歩行空間の整備



現在の福山市中心部



東桜町再開発(イメージ)



伏見町再開発(イメージ)



福山駅前広場整備(イメージ)